

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月29日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 3839 URL https://www.odk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	971	△3.7	△252	—	△221	—	△176	—
2026年3月期第1四半期	1,008	△4.6	△210	—	△186	—	△146	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △176百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △163百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△21.54	—
2026年3月期第1四半期	△17.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	8,221	6,196	75.4	756.23
2026年3月期	9,020	6,414	71.1	782.76

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,196百万円 2026年3月期 6,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	5.1	460	△24.2	500	△24.1	300	115.1	36.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社業務は、大学入試業務をはじめとした年間ベースでの運用受託が中心であり、利益が下期に偏重する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	8,200,000株	2026年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	5,813株	2026年3月期	5,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	8,194,187株	2026年3月期1Q	8,177,088株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善及び各種政策の効果が期待され、全体的に緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、中東情勢は、停戦合意後も戦闘終結には至っておらず、引続きその影響に注視が必要な状況にあります。また、金融資本市場では、金利動向や為替相場、株式市場の変動が継続しており、その影響にも注意が必要な状況となっております。

情報サービス産業におきましては、慢性的な人材不足が継続しているものの、企業の収益性向上や人手不足対策等を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）、生成AI活用、データ基盤及びクラウド基盤整備への投資意欲は引続き高い水準で推移しており、市場のさらなる拡大が見込まれております。

こうした環境下、当社グループは、日常の様々な体験や実績をNFT(※)等としてデジタル化・蓄積する『アプデミー®』の活用により、「学歴・資格」等だけではなく多様な体験が個人の価値として、大学入試や留学、就職活動等に活用できる世界観の実現を目指しております。

ビジョンマップ特設サイト (URL: <https://www.odk.co.jp/company/visionmap/>)



長期的に目指す世界観を踏まえ、当社グループでは、中期経営計画（2027年3月期～2029年3月期）の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「『アプデミー®』を軸としたデータビジネス実現」「高付加価値DXサービスへのシフト」「組織内ナレッジの資産化とAI活用基盤の構築」「重点エリア・顧客層の拡大」「M&A・アライアンスの推進」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

アプデミー®事業の拡張に向け、大学受験ポータル「UCARO®」との連携による合格実績バッジ（SBT）の発行や、ブロックチェーン・Web3.0を活用した生涯学習プラットフォームの構築を進めております。また、アライアンスの継続的推進により参加企業数の増大を図っており、社会的波及性を高めております。

子会社のポスが展開する「CABUILD HR」では、既存の人事SaaSをリプレースすることなく独自AIコネクタで統合し、現場の入力負担を軽減しながら離職予兆分析や最適配置を自動化する等、経験に頼らない客観的なデータに基づく戦略人事の支援に挑んでおります。『アプデミー®』とのデータ連携も視野に入れており、蓄積された学生の学習履歴や体験実績を活用し、学生時代から継続的に蓄積される人的資本情報を活かすことで、企業の高度な経営判断を支える新たなサービスへの拡張を目指してまいります。

また、株式会社山陰合同銀行向けに『SAKIX 公的個人認証サービス（JPKI）』の提供を開始いたしました。本サービスの導入により、利用者がスマホでマイナンバーカードを読み取るだけで迅速・安全に本人確認を行うことができます。銀行内のデータ入力や確認作業を自動化して事務コストを大幅削減するほか、コピー不要による利便性向上やペーパーレス化、セキュリティ強化を同時に実現しております。

業績面では、証券業務における開発案件による売上増加があったものの、前連結会計年度にあった教育業務における大規模な入試改定案件及び初期導入案件の剥落に加え、模試関連業務の終了等の影響により、売上高は971,091千円（前年同四半期比 3.7%減）となりました。人材育成サポート事業における新サービス開発について会計上の健全性を考慮し直接費用処理したことや研究開発費の増加等により、営業損失は252,784千円（前年同四半期は営業損失210,443千円）、経常損失は221,794千円（同 経常損失186,232千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は176,515千円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失146,886千円）となりました。繰越欠損金の発生にともない繰延税金資産を計上したこと等により、法人税等調整額（益）53,016千円を計上いたしました。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第1四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第1四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

売上高の内訳は次のとおりであります。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント毎の記載に代えてサービス別の内訳を記載しております。

＜システム運用＞

前連結会計年度にあった教育業務における大規模な入試改定案件及び初期導入案件の剥落等により、884,890千円（前年同四半期比 6.2%減）となりました。

＜システム開発及び保守＞

証券業務における開発案件受託等により、72,447千円（同 21.1%増）となりました。

＜機械販売＞

医療関連サービスにおけるセキュリティ関連業務に係る機械販売等により、13,752千円（同 184.9%増）となりました。

（※）NFT：

Non-Fungible Token の略語。ブロックチェーン上でその唯一性が保証されているトークンであり、暗号学的にその保有や来歴を証明することが可能です。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて799,351千円減の8,221,586千円となりました。これは主に売掛金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて581,892千円減の2,024,930千円となりました。これは主に未払法人税・未払消費税等の納付による減少であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて217,459千円減の6,196,656千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2026年4月30日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,235,415	4,547,855
売掛金及び契約資産	2,726,695	578,081
商品	13,690	8,640
仕掛品	1,004	2,285
その他	135,707	202,133
貸倒引当金	△2,657	△152
流動資産合計	6,109,855	5,338,844
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	80,935	77,367
工具、器具及び備品（純額）	45,281	100,027
リース資産（純額）	49,208	45,706
建設仮勘定	68,739	3,899
有形固定資産合計	244,164	227,000
無形固定資産		
のれん	74,633	71,960
ソフトウェア	700,642	611,967
ソフトウェア仮勘定	84,353	120,685
その他	9,712	9,457
無形固定資産合計	869,341	814,070
投資その他の資産		
投資有価証券	1,236,607	1,236,796
繰延税金資産	235,146	288,150
差入保証金	167,682	167,286
その他	158,140	149,439
貸倒引当金	—	△3
投資その他の資産合計	1,797,576	1,841,669
固定資産合計	2,911,082	2,882,741
資産合計	9,020,937	8,221,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	294,135	134,100
1年内返済予定の長期借入金	341,820	341,820
リース債務	15,233	15,303
未払金	101,307	67,485
未払費用	127,034	171,481
未払法人税等	265,533	10,158
賞与引当金	143,918	212,345
その他	373,550	242,372
流動負債合計	1,662,532	1,195,067
固定負債		
長期借入金	472,585	387,130
リース債務	39,671	35,818
退職給付に係る負債	432,032	406,913
固定負債合計	944,289	829,862
負債合計	2,606,822	2,024,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	692,729	692,729
利益剰余金	4,829,119	4,611,632
自己株式	△3,409	△3,409
株主資本合計	6,155,639	5,938,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,475	258,503
その他の包括利益累計額合計	258,475	258,503
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,414,115	6,196,656
負債純資産合計	9,020,937	8,221,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,008,475	971,091
売上原価	818,943	819,006
売上総利益	189,531	152,084
販売費及び一般管理費	399,974	404,869
営業損失(△)	△210,443	△252,784
営業外収益		
受取利息	126	332
受取配当金	20,017	22,031
受取手数料	234	212
保険解約返戻金	4,424	9,370
その他	780	641
営業外収益合計	25,583	32,587
営業外費用		
支払利息	1,310	1,405
その他	62	191
営業外費用合計	1,372	1,597
経常損失(△)	△186,232	△221,794
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△186,232	△221,794
法人税、住民税及び事業税	7,269	7,737
法人税等調整額	△46,615	△53,016
法人税等合計	△39,346	△45,279
四半期純損失(△)	△146,886	△176,515
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△146,886	△176,515

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△146,886	△176,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,413	27
その他の包括利益合計	△16,413	27
四半期包括利益	△163,299	△176,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163,299	△176,488
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	124,883千円	125,403千円
のれんの償却額	8,438	2,672